

議案審議

一般会計予算や条例の一部改正などに対する
質疑応答の内容を、要約して紹介します。

平成30年度一般会計歳入歳出決算について

【産業振興費ふくしまプライド販売力強化支援事業について】

問 高橋七重議員

原発事故による風評払拭対策として道の駅への委託事業（事業費100万円）として行われたが、輸出体制の構築の進捗状況はどのようになっているのか。

答 産業課長

インターン学生等を受け入れ検討したが、いまだ輸出までの段階には至っていない。安定的に輸出ができる農産物の確保が課題である。

再問

高橋七重議員

農産物の数の確保に力を入れるべき。生産者も若くはない。先細りにならないよう、対策が必要ではないか。

答

産業課長

昨年、バイヤーとの商談会に参加した。そのつながりをもって海外展開等を進めていきたい。

【標準財政規模額、財政収支試算について】

問

三本松和美議員

① 標準財政規模額から経常経費を差し引きするとマイナスとなり財政不足ではないか。

② 起債償還が最大額になる時期はいつか。そ

答

総務課長

の時の標準財政規模額はいくらか。どのような事業を試算しているのか。

① 一般会計における経常経費と比較できるものではないので、お答えできない。

② 令和7年度の見込み。現時点では普通交付税額が確定していないため、お答えできない。

主な事業は、こども園の建設、中央公民館と保健センターの複合施設、村道逆水論田線の整備。今後、必要な事業も考えられることから確定できるものではない。

【ジュピアランドに係る決算について】

問

三本松和美議員

8143万6千円の整備・維持管理に対し収入は500万円以下。必要

答

産業課長

最小限の経費で最大の効果を出すうえでこの運営をどのように考えるのか。

公園整備や知名度アップだけでなく、商工業や農業全体にも経済波及効果が大きい。定年退職後の雇用の場としても重要な施策である。

【芝桜・あじさい園・ゆり園の無料券発行について】

問

三本松和美議員

① 混雑の原因の一つである無料券の発行はやるべきではないか。

② あじさい園多目的休憩施設の稼働率向上をどのように考えているのか。

答

産業課長

① 今年は目立った渋滞や混雑は発生しなかった。県内外の関係機関や観光施設でのPRに

より来場者の増加、経済効果につながっている。効果的な活用を検討する。

② 秋の紅葉シーズンの来場を的確に捉え、稼働率向上に努める。

賛成

佐藤孝雄議員

交付税参入率の高い有利な起債を活用し、費用対効果を十分に配慮している。事業は優先順位を厳守し支出抑制の努力が伺える。

反対

高橋七重議員

ジュピアランド開発に係る検証の必要性を認識しながら、いつ・どこで・誰が・どのような形で進めていくのかいまだ不明。住民の関心も高く賛否が分かれている。

賛成

瀬谷一男議員

経済効果は図り知れないものがあり、芝桜の植栽に多くの議論を重ねて決断した先人の思い、今の施策は間違いなく計画的に進展することを望む。

討論

反対 三本松和美議員

ジュピアランド事業運営の見直し、再生策を進める必要がある。

（採決の結果、賛成9、反対2で可決）



平成30年度平田村介護
保険事業特別会計歳入
歳出決算について

討 論

【反対】 高橋七重議員

健康長寿に向けた取り組みに力を入れていることは評価する。しかし、この一年間、年金の減額、物価の上昇、さらには10月からの消費税10パーセントと住民生活をさらに苦しいものにする。決算剰余金を出した決算には反対する。

【賛成】 吉田好之議員

常任委員会での説明で十分納得したので賛成する。

(採決の結果、賛成10、
反対1で可決)

平田村簡易水道事業給
水条例の一部改正につ
いて

討 論

【反対】 高橋七重議員

総務省の指導を恐れて引き上げるのではなく、年金の減額、物価の上昇など住民生活の実態を見て、改定はやめるべき。

【賛成】 瀬谷一男議員

一般会計から多額の繰入れにより、価格抑制の努力がみられる。

(採決の結果、賛成9、
反対2で可決)



平田村農業集落排水処
理施設条例の一部改正
について

討 論

【反対】 高橋七重議員

簡易水道事業給水条例の一部改正についてと同じ理由で反対する。

【賛成】 瀬谷一男議員

簡易水道事業同様、一般会計から多額の繰入れにより価格上昇について最大の努力をしている。

(採決の結果、賛成9、
反対2で可決)

令和元年度平田村一般
会計補正予算について

【問】 三本松和美議員

村民総参加的なジュピアランド運営を進める必要があり、ゆり園の跡地利用の中で進めてはどうか。

【答】 産業課長

おただしのとおり、植栽・除草作業・交通誘導などさまざまなボランティアが考えられる。村民総参加による運営を進めていきたい。

【所信表明について】

【若者定住について】

【問】 高橋七重議員

若者が定住したくなる村づくりとして、本村ならではの支援策、構想はどのようなものか。

【答】 村長

持ち家で本村に永住していただけの施策に重点を置き、住宅新築のしやすい環境づくりを検討したい。

【再問】 高橋七重議員

旧蓬田中学校の跡地も当然考えているということでしょうか。

【答】 村長

旧蓬田中・旧小平中、いろいろな部分でより良い可能性・効果がでるようなものを検討する。

【農業商工業の活性化について】

【問】 高橋七重議員

加温施設農業や、農産物の販売を行政が支援するシステムを確立するとはどのようなことか。

【答】 村長

年間を通じて収入が得られる形の農業。例えば燃料が安くすむ薪ストーブのようなものや水耕栽培。より有利なところに野菜を販売することを行政が支援するシステムを構築したい。契約栽培が一番理想的と考える。

【再問】 高橋七重議員

加温施設による野菜作りは生産者や農家の意向によるものか。行政主導によるシステムづくりと農家の声の整合性はどうか。

【答】 村長

加温施設を造ることで、生産面積は増やさなくても生産期間を延ばし収量を増やすことができる。加温施設と販売は別に考えていただきたい。

